

## 地域医療構想の実現に向けたさらなる取組について

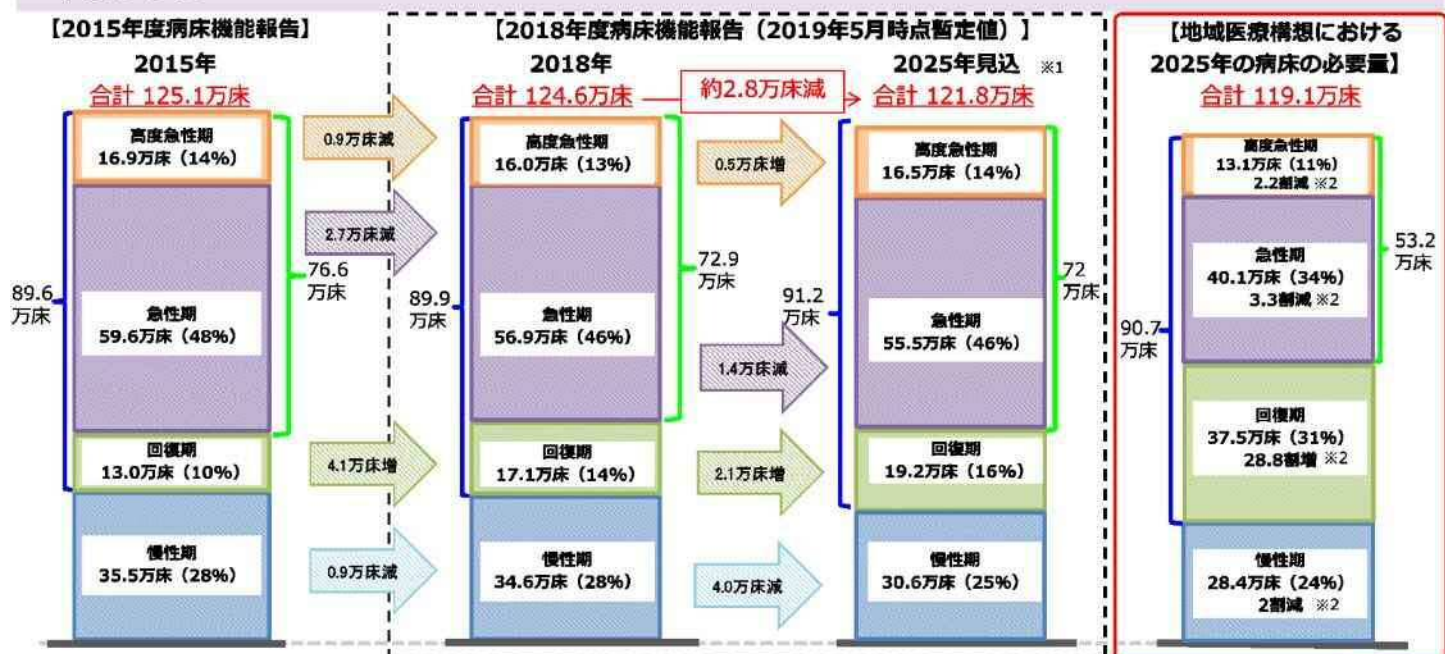
### 要点

- 診療実績データをもとに、公立・公的病院等でなければ担えない機能への特化について再検証
- 公立・公的病院等の機能の重点化については、「民間との競合がないか」などが重要な視点
- 国が再編・統合を「直接支援」する重点地域を都道府県と協議のうえ設定

## 病床機能ごとの病床数の推移

第32回社会保障WG  
(令和元年5月23日) 資料1-1

- 2025年見込の病床数※1は121.8万床となっており、2015年に比べ、3.3万床減少する見込みだが、地域医療構想における2025年の病床の必要量と比べ未だ2.7万床開きがある。(同期間に、高度急性期+急性期は4.6万床減少、慢性期は4.9万床減少の見込み)
- 2025年見込の高度急性期及び急性期の病床数※1の合計は72万床であり、地域医療構想における2025年の病床の必要量と比べ18.8万床開きがある。一方で回復期については18.3万床不足しており、「急性期」からの転換を進める必要がある。



※1：2018年度病床機能報告において、「2025年7月1日時点における病床の機能の予定」として報告された病床数

※2：2015年の病床数との比較

※3：対象医療機関数及び報告率が異なることから、年度間比較を行う際は留意が必要



- 高度急性期・急性期病床の削減は数%に留まり、「急性期」からの転換が進んでいない。
- トータルの病床数は横ばい。
- 具体的対応方針の合意内容が地域医療構想の実現に沿ったものになっていないのではないか。

2017年度の病床機能報告と具体的対応方針(2025年度見込)の比較

(参考)構想区域ごとの状況

### 公立病院

### 公的医療機関等



病床数が減少する合意を行った構想区域数

公立分 113 区域  
公的等分 115 区域  
民間分 131 区域

※1 具体的対応方針策定前の病床数として、2017年度病床機能報告を用いた。  
※2 合意に至っていない公立病院・公的医療機関等の病床数は除いて集計。

医政局地域医療計画課調べ(精査中)

- 2015年度病床数と2025年の病床の必要量を比較すると、「高度急性期+急性期+回復期」の全国の病床数合計は、89.6万床→90.7万床と増加する。
- 公立病院・公的医療機関等の病床のうち、93%※は、高度急性期・急性期・回復期であり、具体的対応方針における2025年のトータルの病床数見込みの評価は慎重に行う必要がある。

※2015年度ベース

51

## 地域医療構想を実現する上での課題および関連する検討事項の例

第32回社会保障WG  
(令和元年5月23日) 資料1-1

- 再編統合やダウンサイジングといった公立医療機関の取組の方向性について、地域医療構想調整会議における協議の結果よりも、**首長の意向が優先される恐れ**があるとの指摘があることから、公立医療機関を有する地方自治体の首長が、地域医療構想調整会議の協議の内容を理解し、地域の合意内容に沿わない取組が行われないようにするために必要な対策について検討を進める必要がある。
- 公立・公的医療機関等の**補助金等の投入・活用状況について、十分に可視化されておらず**、地域医療構想調整会議の協議に活用されていないとの指摘があることから、補助金等の情報を適切かつ分かりやすく可視化するために必要な対策について検討を進める必要がある。
- 再編統合等の取組を具体的に進める上では、**職員の雇用に係る課題や借入金債務等の財務上の課題への対応**が必要となるが、厚生労働省において、**公的医療機関等の本部とも連携**しながら、各医療機関が地域の医療需要の動向に沿って、真に必要な規模の診療体制に円滑に移行するために必要な対策について検討を進める必要がある。
- **病床規模が類似した病院同士や、設立母体が異なる病院同士の再編統合については、特に協議が難航するとの指摘**もあることから、このような場合には、協議のスケジュールにより一層の留意が必要である。



# 地域医療構想の実現に向けたさらなる取組について

第32回社会保障WG  
(令和元年5月23日) 資料1-1

- 2019年年央までに各医療機関の診療実績データを分析し、公立・公的医療機関等の役割が当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか、合意された具体的対応方針を検証し、地域医療構想の実現に必要な協議を促進。

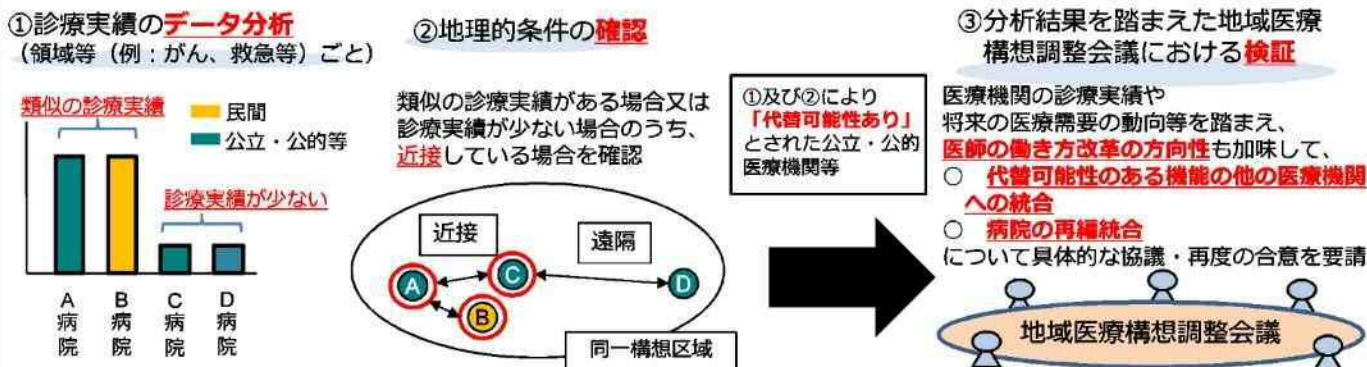
## 2. 今後の取り組み

- 今後、2019年年央までに、全ての医療機関の診療実績データ分析を完了し、「代替可能性がある」または「診療実績が少ない」と位置付けられた公立・公的医療機関等に対して、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえつつ、医師の働き方改革の方向性も加味して、当該医療機能の他の医療機関への統合や他の病院との再編統合について、地域医療構想調整会議で協議し改めて合意を得るよう要請する予定。

### 分析内容

- 分析項目ごとに診療実績等の一定の指標を設定し、当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか分析する。  
重点化が不十分な場合、他の医療機関による代替可能性があると判断する。  
A 各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接している。  
B 各分析項目について、診療実績が特に少ない。
- 医療機関の所在地や、他の医療機関との位置関係を確認するなど、地理的条件も勘案する。

### 分析のイメージ



○ 今回の検証の要請に加え、厚生労働省自らも、地域ごとに助言・支援を実施することを検討

## 具体的対応方針の評価方法に関する基本的なイメージ

第19回地域医療構想に関するWG  
(平成31年2月22日) 資料1-2

### 視点1

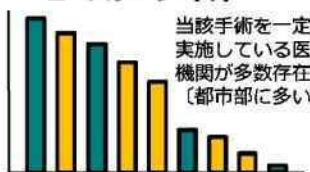
代表的な手術の実績を確認し、機能の重点化について特に議論が必要なケースに該当するか確認。

公立・公的病院等 民間医療機関

#### パターン (ア)



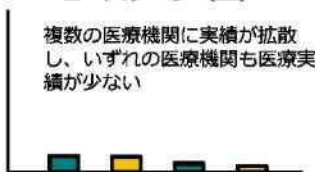
#### パターン (イ)



#### パターン (ウ)



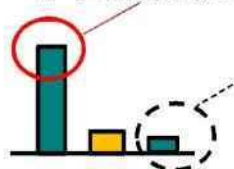
#### パターン (エ)



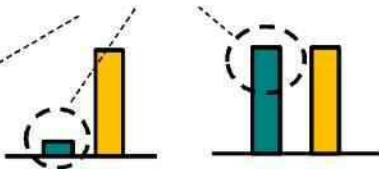
### 視点2

特定の手術以外の幅広い診療実績や、患者像を確認し、構想区域内で、当該医療機関に固有の役割があるか確認。

#### 固有の役割あり

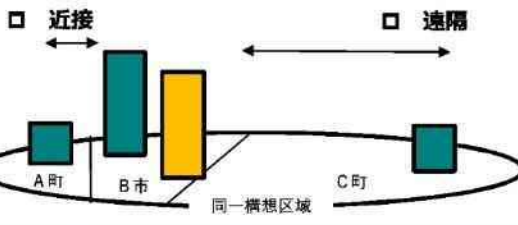


#### 固有の役割なし



### 視点3

地理的条件(位置関係、移動に要する時間)を確認し、近接の度合いを確認。



### 「評価の視点のイメージ」

- 手術実績が一定数ある医療機関が複数存在している場合、公立・公的病院等は地域の医療需要やそれぞれの病院が診療する患者像等を確認し、地域の民間医療機関では担うことができない医療提供等に重点化されているかを確認する。
- 各々の手術によって構想区域の競争状況が異なるため、特定の手術のみではなく、手術以外の診療実績も含めて、地域の民間医療機関では担うことができない固有の役割があるか確認する。
- 診療実績が少ない、構想区域内で固有の役割が無いといった状況にある公立・公的医療機関等については、地理的条件等を踏まえ、他の医療機関等との近接状況を確認する。
- 以上をふまえ、当該医療機関でなければ担うことができない機能への重点化が図られているとは言い難い公立・公的医療機関等は、再編統合やダウンサイジング、機能転換といった対応策を念頭に、地域医療構想調整会議での議論を更に深める。

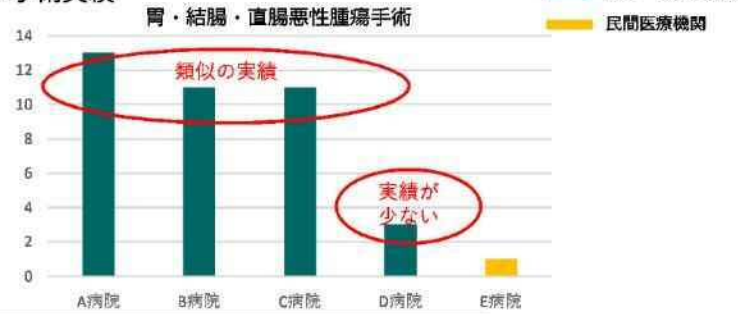


## A 構想区域の例

第32回社会保険WG  
(令和元年5月23日) 資料1-1

- 主要な手術の実績をみると、一定の実績を有するA～Dの公立・公的医療機関が存在。
- A～C病院については他の診療実績や患者像においても一定の実績があるが、D病院については手術の実績が比較的少なく、手術以外の診療実績や患者像を踏まえてもなお、構想区域内での固有の役割がみられない。

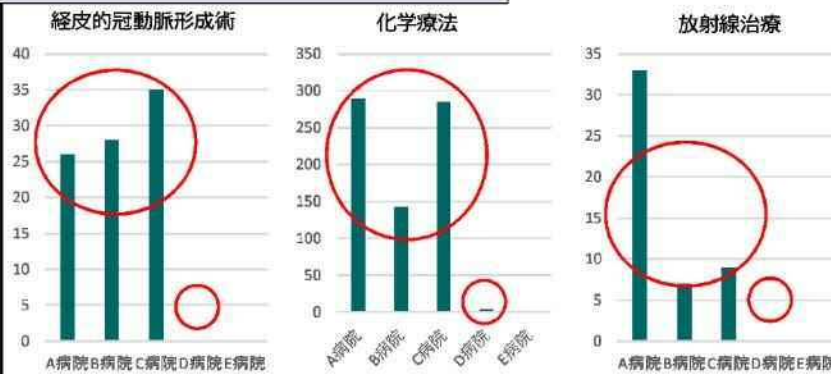
### ■手術実績



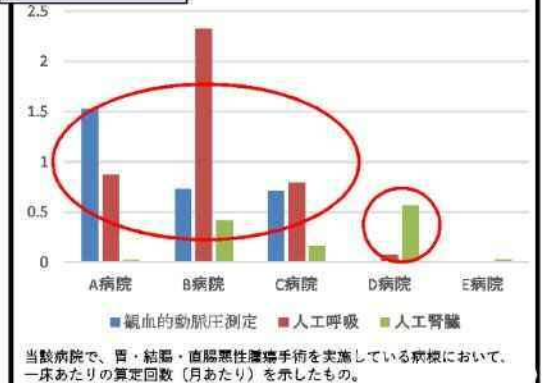
### ■基本情報

人口 (※1)	高齢化率 (※1)	一般病院数 (※2)	有床診療 (※2)	病床数計 (※2)
33万	21	11	13	3.0千
病床利用率 (※3)		医療施設従事医師数 (※4)	流入入院患者割合 (※5)	流出入院患者割合 (※5)
一般病床	療養病床	697	32	32
76	92			

### ■手術以外の診療実績



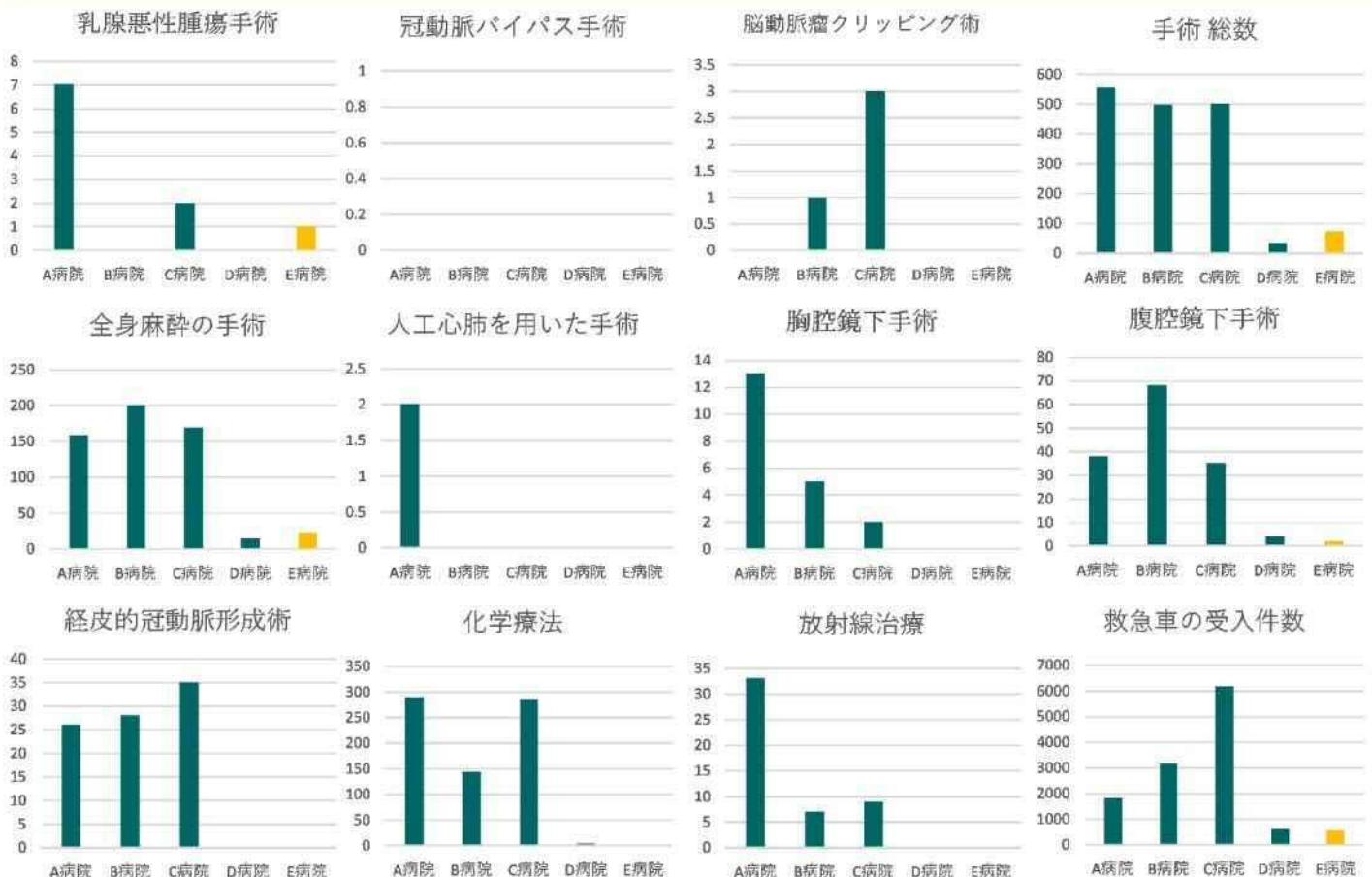
### ■患者像



※1 2016年度住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 ※2 平成28年医療施設（静態・動態）調査 ※3 平成28年病院報告 ※4 平成28年医師、歯科医師、薬剤師調査 ※5 平成26年患者調査

## (参考) A構想区域の医療機関の診療実績

第32回社会保険WG  
(令和元年5月23日) 資料1-1

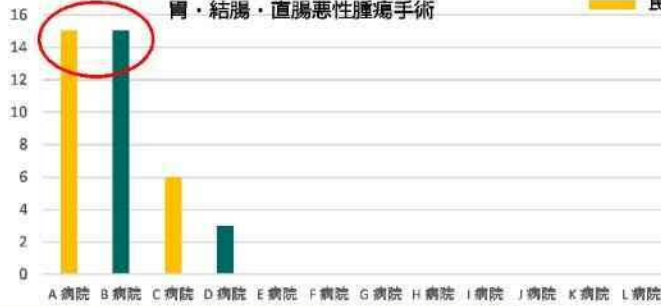


## B構想区域の例

第32回社会保障WG  
(令和元年5月23日) 資料1-1

- 主要な手術の実績をみると、一定数の実績のある公・民の病院が各1ヶ所程度存在。
- 手術以外の実績や患者像をみると、B病院に固有の役割はみられない。

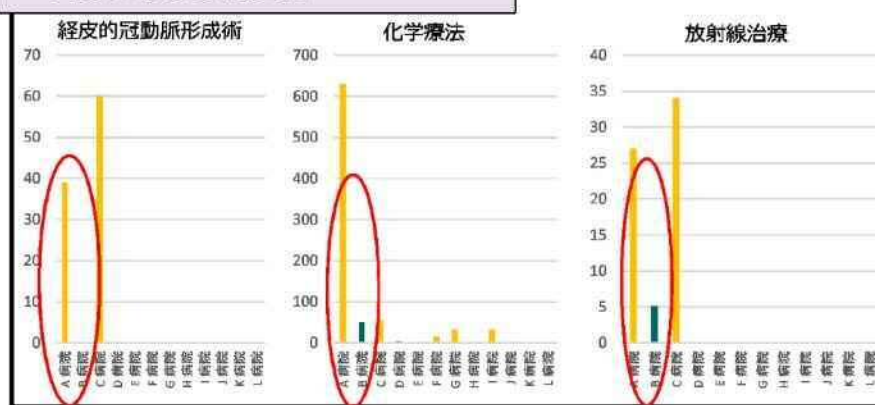
### ■手術実績



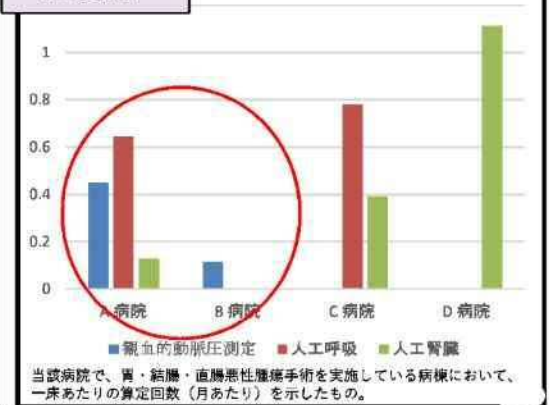
### ■基本情報

人口 (※1)	高齢化率 (※1)	一般病院数 (※2)	有床診 (※2)	病床数計 (※2)
212,000	29.8	12	9	2,678
病床利用率(※3)		医療施設従事医師数(※4)		流入入院患者割合(※5)
一般病床	療養病床			流出入院患者割合(※5)
72.7	80.5	563		-

### ■手術以外の診療実績



### ■患者像



※1 2016年度住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 ※2 平成28年医療施設(静態・動態)調査 ※3 平成28年病院報告 ※4 平成28年医師、歯科医師、薬剤師調査 ※5 平成26年患者調査

## (参考) B構想区域の医療機関の診療実績

第32回社会保障WG  
(令和元年5月23日) 資料1-1

